



産学官民連携による 「元気なまち水俣」共創事業



水俣市

水俣における環境まちづくり



水俣病資料館



海外からの研修受入れ



耕作放棄地の利活用(産品づくり)



みなまたエコタウン

水俣病の経験と地域再生・振興の実践

水俣の新たな挑戦



海藻の森 (写真提供: 森下誠氏)



海を活かしたマリンスポーツ



地元生協の取組



「未来への提言」作文コンクール



海外研修者の地元企業見学

環境配慮型のまちづくりから、統合的好循環へ

自治体SDGsモデル事業の概要

産学官民連携による「元気なまち水俣」共創事業

【経済】

地域資源を活かし・つなぐ産業づくり

- ① 海・山・温泉・マリンスポーツを融合した観光振興
- ② スポーツ合宿とスポーツツーリズムの推進
- ③ 地域事業者等の参画による健康産業づくり
- ④ 安心安全、魅力ある“水俣ブランド”の確立



スキューバダイビング

【社会】

水俣を支える活動人口の増加

- ① 持続可能な社会を担う次世代育成
- ② スポーツによる元気づくりと夢の実現
- ③ Society5.0に基づく健康寿命の延伸
- ④ MaaS・EVによる人の移動の活発化



ジュニアサイエンスセミナー

【環境】

環境まちづくりの展開・発信

- ① 水俣の経験に基づく環境再生と地域振興の取組、発信
- ② 市施設への、地元企業の水力発電による電力導入
- ③ 市民の環境活動とエコタウン・福祉をつなぐ実践
- ④ 環境ビジネスの国際展開



シンポジウム

地域にあるもの + ないもの = 活力創造

三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業)

地域にあるもの、ないものを組み合わせた
活力創造事業

- ・水俣に内在する豊かな食・温泉・自然、地域を支える人々、地理的特性、水俣病の経験、地域再生の取組、環境まちづくりの実践（有形・無形の水俣の資源(財産)）



- ・水俣にないもの(外部との連携・相互補完、テクノロジー)



元気な人と地域、元気な経済、
それを支える元気な環境づくり

三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業)

① 連携と遠隔技術(テレビ会議システム)による人材育成

水俣には、高校は1校あるが、大学はない。

大学・研究機関が集中する首都圏とは距離がある。

不利な条件を克服するには・・・

○あるもの: 水俣環境アカデミア

○ないものを補うもの: 協定締結大学、遠隔技術



水俣環境アカデミア



大学等との連携

⇒ 持続可能な地域社会を担う人材育成



三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業)

② 水俣体感・アクティビティ拠点づくり

水俣には、コンパクトなエリアの中に、豊かな海と山がある。これらを磨き、活かすには・・・

○あるもの：海・山、温泉、地理的特性、住民の取組 + α



海のアクティビティ



山のアクティビティ



地域住民の村案内

③ 連携促進によるカーシェアリングの導入

交通拠点・交流拠点などを結ぶアクセス手段が不十分

○不便を補うもの：民間事業者との連携



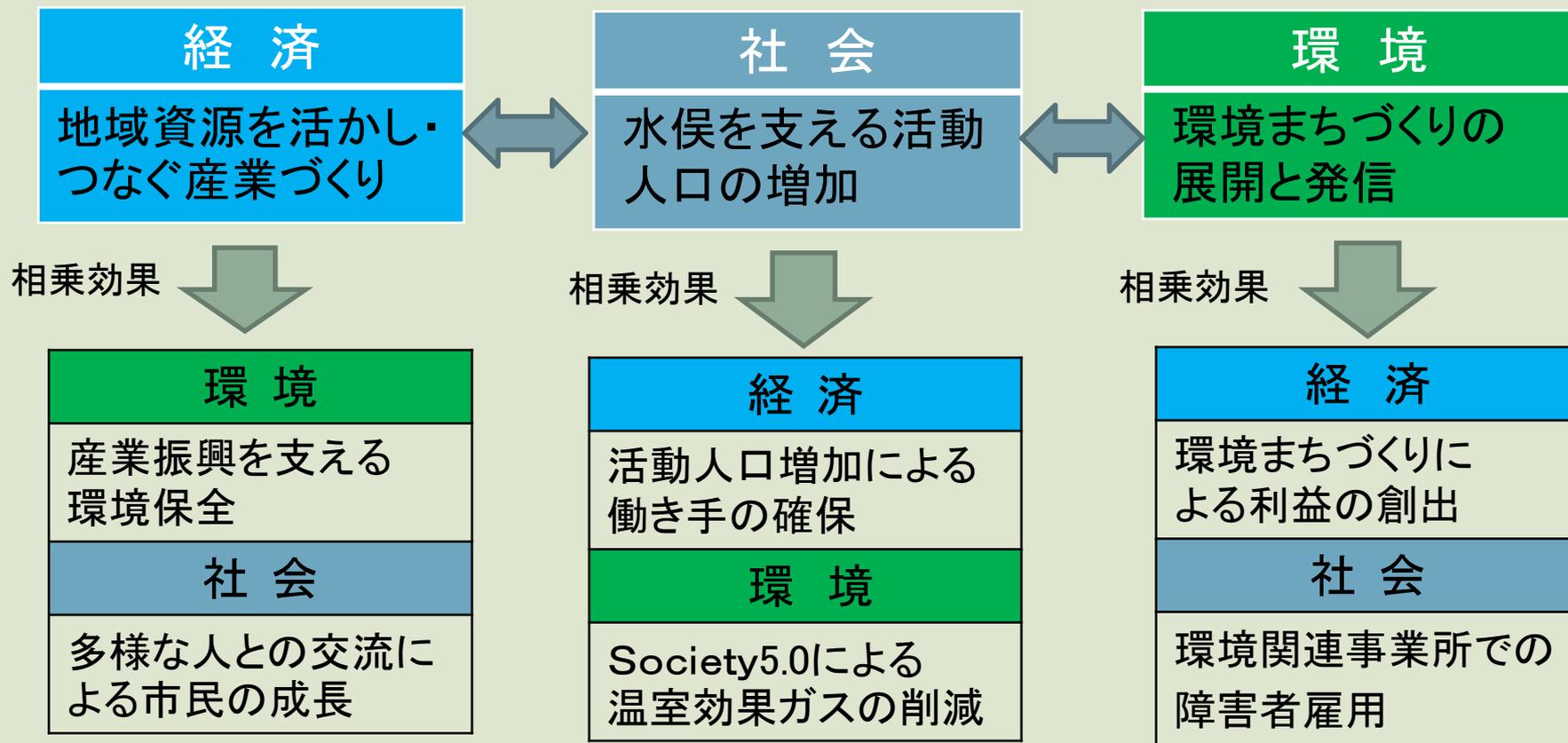
持続可能なまちづくりに関する包括連携協定



連携協定の締結

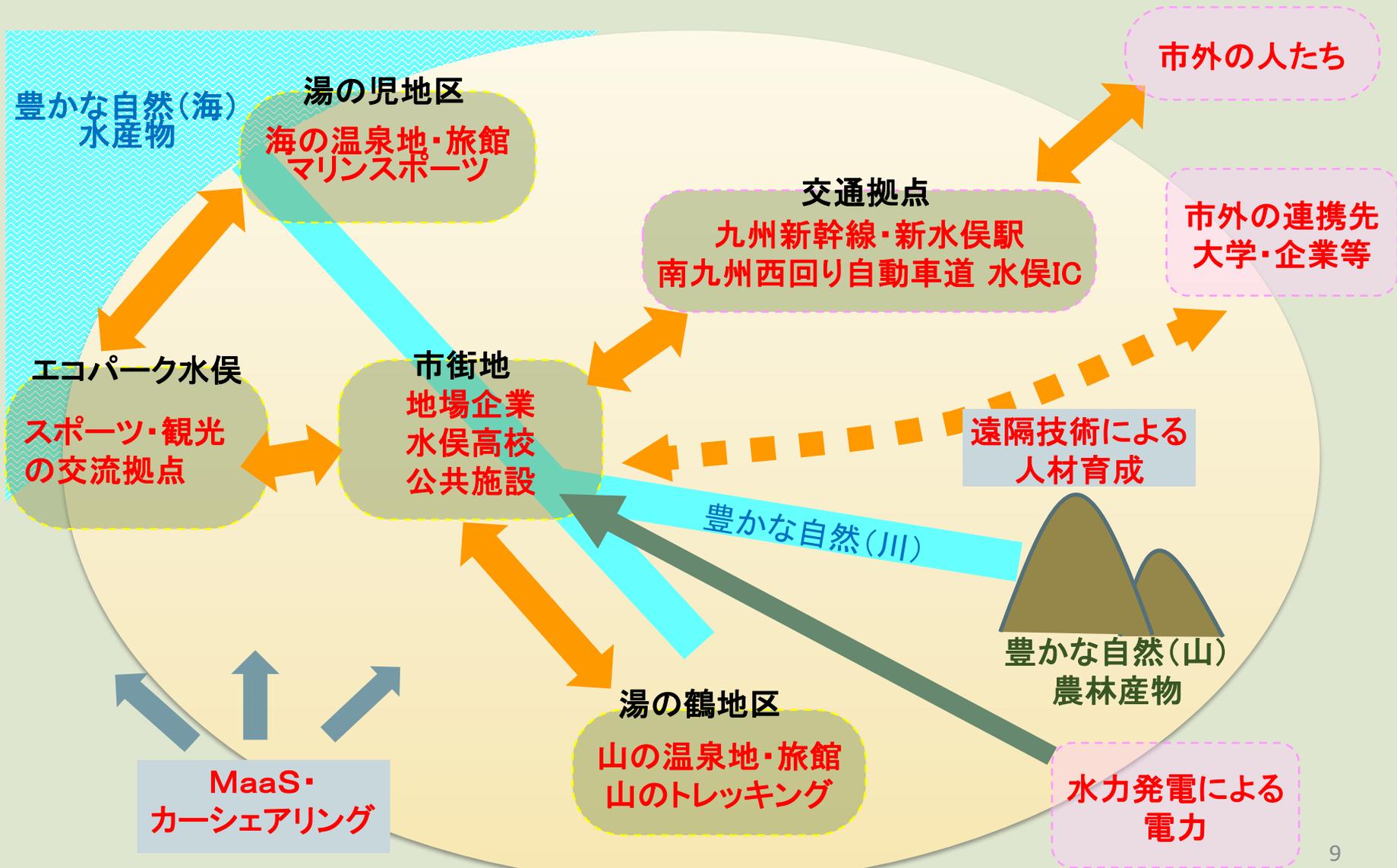
相乗効果

地域にあるもの + ないもの = 活力創造



元気なまち水俣

自律的好循環





地域資源の活用と循環で 地域を元気にします！

